

# 10. 政策変更の定量的発生費用まとめ



項目	コスト増影響額		
	前回(2004年)	今回	
六ヶ所事業 の中止の 影響	代替火力発電コスト(順次原発 停止)※	12兆円(再開2015年) 23兆円(再開2020年)	8.2兆円(再開10年後) 14.1兆円(再開15年後)
	返還廃棄物貯蔵施設建設・デコ ミコスト	想定せず	1,250億円 +130億円
	返還廃棄物等の海外貯蔵コスト	想定せず	
	低レベル放射性廃棄物埋設施設 建設コスト	想定せず	1,400億円
	六ヶ所事業中止に伴う回収不能コスト	2.87兆円	3.88兆円
処分対象廃棄物の種類増加によるコスト	想定せず	2,900億円	
合計		約12.7兆円(再開10年後) 約18.6兆円(再開15年後)	

※既設火力(LNG+石油)および新設火力(LNG+石炭)を想定

※ 上記については2004年技術検討小委員りまとめと同様に発生費用を算定。なお、増分との観点を考えた場合は、投資費用の現在価値換算の差やランニングコストの差の観点の検討も必要か